

北海道通信

平成26年 8月13日 【水曜日】

親子で体験トレッキング

留萌振興局と増毛山道の会

山道の歴史への理解深める

【留萌発】留萌振興局とNPO法人増毛山道の会（伊達東会長）は九日、「増毛山道を学び隊 子ども・親子夏休みミニツアー」を開催した。約二十人の参加者が、留萌振興局で山道の歴史等の説明を受けたほか、五ヶ岳ミニコースで山道体験トレッキングを行った。写真Ⅱ。

増毛山道は、江戸末期に断崖の雄冬海岸を迂回すべく開削・利用されてきた交

易路。留萌振興局と増毛山道の会では平成二十一年から山道の復元に努め、二十二年度から体験トレッキングを開催しており、山道の歴史を風化させない取組を続けている。

今回の取組はことしが初めて。一行は、留萌振興局内で山道の歴史やこれまでの活動状況について理解を深めたあと、増毛山道五ヶ岳ミニコースのスタート地点である循環林道南交点に



移動。武好駅通や江戸時代末期に電報のやりとりに使った木製の電信柱、標高六百七十二メートルの一等水準点などを見学しながら、山道散策を楽しんだ。